

備前市事務事業評価表

事務事業名	生涯学習推進事業	コード	03-02-03-01
		担当課・係	生涯学習課 生涯学習係
		担当者	福山哲明
事業実施期間	平成3年度～	電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	成人教育	

事業について	
目的 (何のために)	いつでも、どこでも、誰でもが学びながら、社会の中で自己実現を図っていくため、学習機会の提供を行い生きがいのある明るく充実した地域社会の実現を目指す。
対象 (誰・何を対象に)	自己実現を図るため、生涯学習全般に興味関心のある市民及び家庭教育の充実を図るための学習意欲のある保護者。
内容	平成19年度に開催される全国生涯学習フェスティバル開催を通じた生涯学習社会の構築と生涯学習情報紙による情報提供。

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数	単位	回数	単位
子ども情報センター運営事業	24,000	部	24,000	部
生涯学習情報収集提供事業	16,000	部	16,000	部
全国生涯学習フェスティバル運営事業				
事業費 (単位：千円)	事業費		財源	
	直接事業費	1,722	国庫補助金等	
	人件費	2,795	委託費負担	
	合計	4,517	市債	4,517
			一般財源等	
	合計	8,165	市債	8,165
			一般財源等	0
必要人員	0.30		0.70	人
結果指標	結果指標名	「ときナビ」発行部数	「ときナビ」発行部数	
	結果指標量	24,000	24,000	
	単位	部	部	
	対前年比	—	100.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	864,200	円	781,200
	単位当たりコスト	36	円	33
結果指標	結果指標名	あなたへの贈り物発行部数	あなたへの贈り物発行部数	
	結果指標量	16,000	16,000	
	単位	部	部	
	対前年比	—	100.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	446,880	円	443,520
	単位当たりコスト	28	円	28

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	平成19年度に開催される全国生涯学習フェスティバルを機に団塊熟年代を巻き込みながら備前市における生涯学習社会の構築を図る。		
成果指標名	平成19年度全国生涯学習フェスティバル参加者数	式又は説明	フェスティバル対象予定事業の参加者数
	17年度	18年度	
成果指標量	1,000	1,050	
対前年比	—	105.00%	0.00%
到達目標値	3,000	到達目標年度	平成19年度

(平成18年度事業)

事務事業の評価			妥当性評価<A~E>	B		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 文化財保護法	課題認識	生涯学習社会の構築にむけて、学習機会の提供を行い、生きがいのある明るく充実した地域社会づくりを推進する。		
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である				
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である				
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	課題認識	コスト削減と低コストでの事業実施に向けた検討・見直しを実施。		
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である				
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている				
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	平成19年度開催の「備前市生涯学習フェスティバル」の知名度及び開催趣旨は市民に浸透しつつある。また、市民ボランティア等も積極的に参加している。		
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している			有効性評価<A~E>	B
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている					

平成19年度の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	備前市生涯学習フェスティバル開催を機に生涯学習社会の構築と学びの楽しさが広く市民に浸透するように事業計画を進めている。
目標値	結果指標量	24000部	結果指標量	16000部
	成果指標量	3000人		

総合評価		評価区分<A~E>	A
生涯学習フェスティバルは平成19年度に開催され終了となるが、平成20年度より「放課後子どもプラン」を福祉部局との連携を模索しながら実施していく必要があり、「フェスティバル事業」開催経費を「放課後子どもプラン」に充当願いたい。			

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	生涯学習フェスティバル開催経費を次年度より実施予定の「放課後子どもプラン」に充当願いたい	20年度	児童の安全・安心な活動拠点(居場所)の環境整備